

【学校関係者評価書】（令和6年度）

園 名	鶴舞やまとこども園
評価者名 (学校評議員名)	階戸幸一様、廣瀬さやか様、塩見みどり様
学校関係者評価実施日	

大項目	中項目	目標達成状況及び 取組状況について	園の取組の 適切さについて	教育活動、学校経営の 改善方策について
I 教育活動に関するもの	教育目標・教育計画 教育内容・保育指導 園行事 人権教育 生徒指導 特別支援教育	今年度から、異年齢交流の一環として、「Funday！」を取り入れた。自主選択活動として、午前9時から10時まで実施し、園児が遊びたい部屋で、遊びたい玩具を自由に選べる活動を実施。昨年度より引き続きのテーマである「やってみたい 試してみたい 心と体を動かして楽しむ」ことから、サーキットスペースを設け、楽しみながら体力アップする内容も盛り込み充実した活動ができた。登園後の活動開始時に体操の時間を設け、また、体育の専門講師による運動あそびの時間を増やし体力増進・健康維持に繋がった。	奈良市実施の研修に積極的に参加し、職員全体にフィードバックし職員の資質向上に努めた。また、園内研修として、奈良県子ども保育課より就学前教育・保育支援アドバイザーにより、保育の教育環境や子どもとの関わり方や援助の方法を学んだ。クラスや園の運営に、より考えを深め、研鑽することができた。	園外散歩に出かけ、近隣の地域に出向き、店舗や仕事の様子を見学し、園児が触れてきた実体験を通して学ぶ機会を増やした。地域の自然と触れ合う機会を増やし、植物の栽培も引き続き充実した。園児の興味関心に応じた活動を提供できるよう、主体的に遊び、学びを深められる環境づくりを行う。
II 園経営に関するもの	組織運営 研究・研修 安全管理 保健管理 地域との連携 施設・設備 情報管理	毎日の朝礼において、園児の状況把握、給食アレルギーの情報伝達や再確認を行い、内容を記録することにより、日々、全職員が把握できるよう努めた。職員会議において、ヒアリングについて報告し事故防止に努め、危機管理意識の向上を図った。 園内外設備や遊具に関して、職員が日常的に安全点検し、また、専門業者の診断を受けて、安全管理に努めた。	英語の絵本を購入し、園児の情操や想像力の豊かな形成に努めた。木製玩具（カプラブロック）を購入し、園児とともに職員も遊び方の講習を受け、想像力、集中力、友だちとの共同遊びの展開が広がり、総合的な育みの充実につながった。	園だより、クラスだよりなど保護者への配布物をペーパーレス化し、配信することにより、保護者が、携帯アプリにおいて、随時確認できるよう効率化を実施し、また職員の業務軽減もできた。子育て中の職員も多く、無理せず仕事ができる体制づくりを行い、職員全体が業務時間内にできるよう負担軽減に努めた。

その他の園に関する意見

- ・保護者より、下記の声が寄せられ園についても評価いただいていることが喜ばしい。
 - *いつも丁寧な関わりおよび保育の実施
 - *子どもの様子の伝達や親が相談しやすいコミュニケーションづくり
 - *のびのび過ごせる環境づくり、自然体験の実践
- ・送迎時の駐車場の混雑が懸念。
- ・近隣地域の大型工事の進捗状況（工事車両・道路状況）および今後の安全面配慮について
- ・育友会が保護者会に変わりその後の現状について
- ・働き方改革に伴う職員の負担軽減について、保育教育以外の軽作業において地域資源活用の提案。
- ・次年度から取り組む教育活動「国際バカロレア」に対する活動内容について、内容は英語教育ではなく、現在、園で実践している探究活動であることを報告。英語講師を常勤配置することにより、外国文化にも振れグローバルな活動を行いつつ、園児が自由に遊びを選ぶ時間の確保、バランスを保ってほしい。